

◇ 令和5年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「草津」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	18,919,842円		20,220,446円	行事の変更やコロナ対策で急に購入することになった物品など変更が多かったが、コロナ対策費などを活用し経理を行うことができた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施等保護者の意向も取り上げ、満足度の高いものにしていく。
施設HPアドレス	https://minnanoie.roukyou.gr.jp		2年目	18,460,093円		19,803,497円	正常に運営できている。(差額については、おやつ代等に対応)	子どもを真ん中に据えたまちづくりを目指し、保護者や地域との協同を進める。子どもや親をありのまま受け止め、安心して安全に過ごせる場所、体験を通して一人一人が成長できる場所をみんなで作る。
指定管理者名	労働者協同組合 労協センター事業団		3年目	21,666,274円		28,520,378円	正常に運営できている。(差額については、おやつ代等に対応)	子どもを真ん中に据えたまちづくりを目指し、保護者や地域との協同を進める。子どもや親をありのまま受け止め、安心して安全に過ごせる場所、体験を通して一人一人が成長できる場所をみんなで作る。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	19,383,849円		22,540,723円	指定管理料内で行事など行うことができた。	児童が安心して安全に過ごせる環境を整える。
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成21年4月1日
施設の供用開始日	平成9年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和5年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
ICT導入、本格的な運用を開始。児童の入退室を把握し、欠席漏れなどが熾らないような体制を目指す。異年齢保育の強みである他学年での交流を行う。製作活動など、行事を行うことで体験を通しての喜びなどを共有する。		概ね適正な管理運営ができている。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
コロナウイルスが5類に移行し、マスクなども個人の判断によるところとなった。中期ごろまでコロナウイルスの懸念から遠足などの行事を行えず、唐橋焼の方を招いての活動となった。ICTの活用は押し間違いや押し忘れ等があり、一部混乱が発生していることもあったが、お便りのやお知らせの送付などに活用することができた。加配児童と児童との間でのトラブルがあり、気付くことが遅れたことにより児童・保護者の方に心配・不信感を抱かせることとなった。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務 (1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務 (2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務 (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等) (仕様書 P1.2)				
評価項目 1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	加配児童と医療的ケアの児童がおり、看護師の派遣を利用した。ケアの児童が兄弟で登所していたこと、兄が4年生で同学年が少なくなることが重なり5月末で退所となった。情報共有は団会議の実施や申し送りで行った。保育人員の確保はできていた。	上半期評価	仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。ケアが必要な児童を含め、全体を見渡すためのゆとりある支援員配置をされていた。市が実施する研修にも参加され、支援員等の資質向上に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	加配児童を含めた人員体制の確保はできていた。申し送りや団会議などの実施を行い情報統制を図った。	下半期評価	仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。ケアが必要な児童を含め、全体を見渡すためのゆとりある支援員配置をされていた。市が実施する研修にも参加され、支援員等の資質向上に努められた。
	☆☆☆		☆☆☆	

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等) (仕様書 P1.2)				
評価項目 2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	個人情報は鍵付きの棚にて保管。団会議による児童の様子の共有などを行い、よりよい保育のあり方について考えた。唐橋焼の体験などをおこなった。	上半期評価	個人情報について、鍵付きの棚に保管し、適正な管理をされていた。保育環境も職員で共有する機会を設け、安全な保育に努められた。また、イベントも工夫され実施された。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	ハロウィンやクリスマス会など参加型の行事のほかに、勤労感謝製作など製作型の行事も行った。どういった内容の物をするのか子どもたちに聞いた上で行うなど意見反映を取り入れることを行った。	下半期評価	時期にあったイベントを行うとともに、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等) (仕様書 P2.3)				
評価項目 3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	コドモンの導入により、お知らせ、おたよりの配布などをオンラインでできるようになり、タイムラグなく、迅速な情報発信を行えた。アンケートではおやつ量の量に対しての意見があり、改善に向け、量を多くしたりなど行った。	上半期評価	オンラインでのおたよりを通じて、児童の様子を保護者に伝えられていた。実施した保護者アンケートの内容を保護者にきちんと還元することで、保護者とのコミュニケーションを図ることに努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	コドモンでのお便りを配布できていない月があり、行事予定だけの報告になる月があった。アンケートで保護者会の実施を行うかなどの意見もあったがコロナの危険性もあり行わなかった。加配児童が長時間トイレに入ることがあり、理由がのびっ子での生活で嫌な部分があり、そこを見抜くことができなかった。	下半期評価	保護者に対して行われたアンケートの結果を受け、子どもの健康や保護者に寄り添った対応を心掛けておられた。児童の様子に気になることがあれば、支援員間で情報を共有し、問題の発見と解決に努められた。
	☆☆☆		☆☆☆	

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3,4)				
評価項目 4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	開所前の清掃・閉所前の施設点検などを行った。怪我に繋がりそうな箇所の確認・対策などを行い情報共有を行った。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練を実施された。設備点検による情報共有や日々の清掃活動もされ、安全な保育に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	清掃・施設点検のほか、絨毯の貼り付けなどを行った。コードの位置が足に引っかかる配置にするなどした。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練を実施された。日々清掃活動され、配置の見直しを実施するなど安全な保育に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	